

## 東和中学校 2016年度 2学期のふり返 りと3学期に向けて



2017.1.6  
3学期 始業式

## 2学期 学校行事



- ☞ 9月1日 2学期始業式
- ☞ 9月30日 生徒会役員選挙 新執行部誕生
- ☞ 10月1日～市中体連新人大会
- ☞ 10月11日～14日 3年生宿泊研修(修学旅行)・2年生職場体験学習・1年生自然体験学習
- ☞ 10月20・21日 2学期中間テスト
- ☞ 10月21日 巨大地震津波避難訓練(ビッグ愛6階)
- ☞ 11月8日 宮崎幸子さん絵画展・講演会
- ☞ 11月9日 持久走大会(東公園周辺道路)
- ☞ 11月19日 文化的行事(展示発表・合唱コンクール)
- ☞ 11月30日～12月2日 2学期期末テスト

## 生徒の活躍(運動部 3位以上) ①



- ☞ 市中学総体
  - 陸上競技 1年女子走幅跳 第1位 寺岡辰愛(県大会出場)  
第2位 辻岡美咲
  - 1年女子200m 第1位 辻岡美咲(県大会出場)
  - 柔道 55kg以下級 第3位 福田正持
  - 81kg以下級 第2位 福本将太郎(県大会出場)
  - 90kg以下級 第3位 楠 侑真
  - 90kg超級 第2位 串野克哉(県大会出場)
  - 剣道 男子団体 第1位(県大会出場)
- ☞ 近畿剣道大会 中学生の部(男女混合) 第3位

## 生徒の活躍(運動部 3位以上) ②



- ☞ 県中学総体
  - 剣道 男子団体 第2位
  - 柔道 90kg超級 第3位 串野克哉
  - 新体操 個人総合 第3位
  - フープ・ボール 第3位 桃原 玲
- ☞ 第1回イースタンカップ中学生ソフトテニス大会  
第2位 奥村心葉・湯川真梨菜
- ☞ 第2回吉宗カップ(野球部) 準優勝

## 生徒の活躍(文化部等)



- ☞ 交通安全ペイントコンテスト  
特別賞(美術部スマイル東和・YYY)
- ☞ 社会を明るくする運動作文コンテスト  
和歌山県保護司会連合会長賞 辻岡華奈
- ☞ 第70回和歌山県学校美術展 出展 小鳥結加
- ☞ 紀の国被害者支援センター主催「命の大切さ」  
絵画コンクール  
最優秀賞 有田夏奈、入選 松本鈴乃

## 生徒会役員選挙



### 3年生 宿泊研修（修学旅行）



7

### 2年生 職場体験学習



8

### 1年生 自然体験学習 ・救急救命講習



9

### 津波避難三原則

- 1 想定にとられるな  
→ 自然現象としてあらゆる事態が起こる
- 2 最善を尽くせ  
→ その状況下でできる限りの行動をとる
- 3 率先避難者たれ  
→ 集団心理が働き多くの人を救う

出典：東日本大震災、津波避難三原則（国土交通省）

10

### 宮崎幸子さん絵画展・講演会



11

### 持久走大会



12

### 文化的行事 (展示発表・合唱コンクール・公民館活動展示・朝鮮初中級学校との交流)

13

### 文化的行事 (展示発表・合唱コンクール・公民館活動展示・朝鮮初中級学校との交流)

14

### 特別非常勤講師出前授業 (地域の人材ボランティア)

同和特設授業 12.12 (3年生 坂東恵子氏 )

性教育特設授業 12.20 (2・3年生 有馬美保氏)

15

### 情報モラル教室 12.22 (市少年センター 神谷禎之氏)

16

### 全国学力・学習状況調査結果①

#### 教科調査結果

教科	本校	和歌山県	和歌山県	全国(12)
国語科の課題	58	64	68	71
数学科の課題	36	48	53	53

教科調査の分析

国語・数学に共通している課題は、根拠をもとに自分の考えを書いたり人に伝えることと言えます。

この分析を今後の授業づくりに生かしていきたいと考えます。

17

### 全国学力・学習状況調査結果②

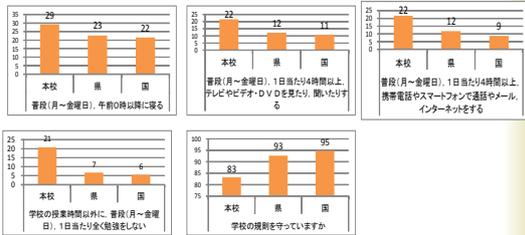
#### 質問紙調査結果 (取組の成果)

質問	本校	県	国
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	53	52	50
学校の授業時間以外に、書夜(月～金曜日)、1日当たり2時間以上、勉強をする	44	34	34
学校の授業時間以外に、書夜(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、読書をする	16	13	14
1. 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	52	36	35
1. 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	88	86	86
1. 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っていたと思いますか	70	59	69

18

### 全国学力・学習状況調査結果③

#### 質問紙調査結果（本校の課題）



19

### 全国学力・学習状況調査結果を受けて

- 本校では学校を挙げて、「朝の読書活動」、「宿題の取組」、「学び合いの授業づくり」をすすめています。「朝の読書活動」についてはその成果が表れていますが、今後も前向きに読書に取り組む生徒の割合を高めていきたいと考えます。また、「宿題の取組」を家庭学習の習慣化につながる取組していく方策も検討していきます。
- 家庭学習については「携帯・スマホ、テレビ等」との関連が大きく影響しています。「携帯・スマホ」については学校における情報モラル教育等を充実させるとともに、家庭内のルール（利用目的・利用時間・利用場所）を作り、守ることをより一層啓発していかなければなりません。

20

### 全国学力・学習状況調査結果を受けて

「授業づくり」については、今後も「学び合いの授業づくり」をすすめていき、校内研修や研究授業・研究協議会等を通して学校全体で生徒が主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブ・ラーニング）の充実をすすめることにより教師主導の一斉的な指導から主体的・協働的な学びへの学び方の転換を図ってきたいと考えています。「学び続ける子は崩れない」と言います。この取組をすすめることが本校の課題解決の一助になると確信しています。

21

### きのくに学力定着フォローアップ事業 9/29 1年社会 辻本雄祐先生



- 本校では、授業改善・学校改革として、授業を『教える』から『学び取らせる』に、生徒の姿を受動的な姿勢から主体的な姿勢に変えるため「学び合いの授業づくり」に取り組んでいます
- そのために従来の教師主導の一斉授業から、男女4人一組のグループ学習を取り入れることで、生徒相互に聴き合える関係を作り、わからない子が「ねえ、こどうするの?」という問いを発することができるようにした授業のスタイルへ転換を図っています。

22

### グループ学習の約束

- ・まずは独りで考えよう
- ・分からなかったら訊こう
- ・訊かれたら応えてね
- ・訊かれるまでは教えない

23

### きのくに学力定着フォローアップ事業 11/7 1年保体 伊丹太輔先生

- 陸上競技 長距離走
- 2000m、駅伝に向けてめあてにあった練習（グループ別に発表ボードの活用）
- グループで励まし教え合いながら記録に挑戦
- グループ学習の効果
- 歩く人、サボる人はいない
- 個々のタイム向上のためにグループ内でアドバイス
- 誰もが熱中する授業

24

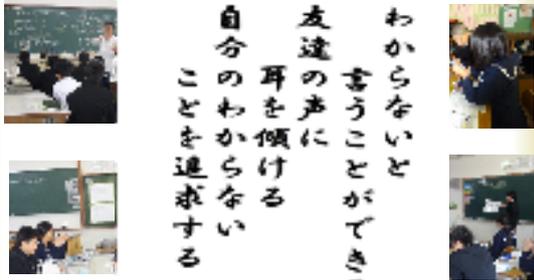
### 学び合いの約束

1/11

一 わからないと  
言うことができない

二 友達の声に  
耳を傾ける

三 自分のわからない  
ことを追求する



25

### 学び合いの授業づくり 公開研究授業

2年 国語 11/11 江田太郎先生

授業では、「扇的～平家物語」の範読により、登場人物の位置を読み取らすために生徒一人一人が教科書の大事な箇所に線を引くことから始まりました。

その後、グループ形態になり、読み取ったことを一人一人がプリントにまとめ、それをグループの中でホワイトボードにまとめていく、そしてそれを発表する、と授業が展開していきました。

「まずは独りで考えよう」、「教科書を根拠にして自分の考えをまとめよう」、「わからなかったらグループで考えよう」など適切な指示があり、生徒の学び合いが成立した授業となりました。



26

### きのくに学力定着フォローアップ事業

11/28 2年数学 山本 翔 先生

授業のはじめには、手を挙げて、「先生、先生」と授業者に教えてもらおうとする生徒が何人もいましたが、授業者が、「わからなかったらグループの人に訊こう」と返すことで、生徒相互の「聴き合える関係」が構築され、「静かな学び」、「対話的・主体的な学び」が展開されていきました。



27

### 次期学習指導要領改訂に向けての取組

国は、本年度中に学習指導要領を改訂し、2020年から順次実施していくことになっています。

次期学習指導要領では、何を学ぶかに加え、主体的・対話的で深い学びの実現というアクティブラーニングの視点が盛り込まれます。



28

### 学びの共同体のビジョンとアクティブラーニング

- すべての子どもの学ぶ権利を保障する
- すべての子どもが一人残らず学びに参加させる
- 教師全員が互いに学び合い、教育の専門家として成長する
- どの生徒も一人にしない...子ども同士がつながる
- どの教師も一人にしない...先生同士がつながる(同僚性が生まれる)

「アクティブ・ラーニング」という言葉をよく耳にしますが、決してグループ内での活発な討議や発表を指すものではありません。

①対話的・②主体的で③深い学びの三つが「アクティブ・ラーニング」の視点なのです。

見た目が「活発な学び」ではなく、頭で考える「静かな学び」なのです。そのために、わからないことを放っておかないで、グループの仲間に訊ける環境を作ることが大切なのです。

29

### 高大接続 (大学入試が変わる)

本朝が案 短文80字超の2種

新テストから次で2種

国文全員に記述式問題

大学入試に異変



30

## 12月9日付け 毎日新聞 記事より



- ☞ 文部科学省は現行の大学入試センター試験に代えて20年度に始める新共通テストで短文形式と長文形式の記述式を課す方針で、国立大の受験生は新共通テストか2次試験のいずれかで必ず長文の記述式を解くことになりそうだ。

31

第6回「きのくに学力フォローアップ事業」  
(1年数学 提案授業 見矢龍真先生)!!

32

## 防犯啓発活動 (生徒会) 12.7



## 3 学期 東和の生徒が大きく成長するために



- ☞ 子どもは明るく元気な学校 (学級) を求めている。
- ☞ 安心して学べる学校 (学級) を求めているのです。
- ☞ 「学び合いの意味」を理解しルールを守り「学ぶ」こと。
- ☞ 一人残らず学びに参加できる学校にしよう。

34

## 「読書する」「考える」



- ☞ 「本」を通して人の知恵をステップにして大きくジャンプできる。
- ☞ 「読書」により「考える」ためのベースを作ろう。
- ☞ 自分で「納得」するまでは「わかったふり」をしないで「考え」続けよう。
- ☞ スマートフォン等の利用は最低限度に控えること。

35

## 朝の読書活動について (確認事項)



- ☞ 毎朝、自分の読む本を**自己選択**し、教師からの課題ではなく**自己決定**した本を**自分の責任**で一定時間読むという学習活動は、他の教育活動には見られない取組である。
- ☞ 一人ではできないことも「みんなでやる」という集団の力により、無理なく達成できるという側面がある。
- ☞ 誰もが取り組める時間設定により、「毎日やる」ことで読書習慣の形成を図ることができる。

36